

2017年度第1四半期 決算説明資料

2017年7月28日
日本テレビホールディングス株式会社

本説明会及び資料の内容には、将来に対する見通しが含まれております。しかし、実際の業績は、様々な状況変化や要因により、これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。ご了承下さい。

また、本資料の無断転載はお断りいたします。

視聴率の状況

2017年度1Q決算について

主なグループ会社の状況

2017年度の見通し

視聴率の状況

Point

1

2017年4月期 クール三冠王獲得！

- ① 2013年12月から本年6月まで43か月連続で「月間三冠王」獲得
→2013年12月9日週から189週連続「全日」トップ（民放歴代最高）
- ② 関東地区だけでなく、系列局でも好調な視聴率
→日本テレビ系列26地区中、24地区でクール三冠王を獲得
- ③ 「世帯」視聴率と「個人」視聴率の両立
→引き続きクライアントニーズの高い視聴者層を獲得

Point

2

全ゾーンで高視聴率を維持

- ①「プラチナ」「ノンプライム」もクール首位 → 朝から深夜まで首位
- ②「プライム」「ゴールデン」のクール平均で2位局と2%以上の差

Point

3

2017年「年間」視聴率も三冠で推移！

(2017年7月23日現在)

2017年「4月クール」視聴率

期間:2017/04/03~2017/07/02

	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位局との差	HUT
全日	① 7.9	7.2	6.0	2.8	5.6	+0.7	39.6
6時~24時	(△0.3)	(±0.0)	(±0.0)	(±0.0)	(△0.1)	(△0.3)	(△0.9)
プライム	① 11.7	9.4	9.6	6.2	7.5	+2.1	57.5
19時~23時	(+0.2)	(△1.1)	(△0.4)	(+0.2)	(△0.4)	(+1.1)	(△1.5)
ゴールデン	① 12.1	9.0	9.6	6.6	7.6	+2.5	59.8
19時~22時	(+0.4)	(△1.1)	(△0.5)	(+0.3)	(△0.3)	(+0.9)	(△1.3)
ノンプライム	① 6.8	6.5	4.9	1.8	5.1	+0.3	34.5
全日-プライム	(△0.5)	(+0.3)	(±0.0)	(±0.0)	(±0.0)	(△0.8)	(△0.7)
プラチナ	① 6.3	5.6	4.2	3.0	3.8	+0.7	28.7
23時~25時	(△0.7)	(△1.1)	(△0.5)	(+0.2)	(△0.4)	(+0.4)	(△2.4)

- 注: 1. 表示は左からデジタルチャンネル順
 2. 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ
 3. ()内は前年度との差 比較期間:2016/04/04~2016/07/03

編成方針について

- ① 継続的な視聴率三冠＋プラチナ制覇

- ② 「コアターゲット戦略」の堅持

- ③ 地上波を中心とした総合編成戦略の推進

- ④ レギュラー番組の
「更なる内容強化」と「リ・ブランディング」

4月改編報告

1 月曜のGP枠切変更

◎20:54-ミニ枠を廃止し、「世界まる見え！テレビ特捜部」と
「人生が変わる1分間の深イイ話」が直結し、強い月曜実現。

◎世帯視聴率 「有吉ゼミ」・・・ 1月クール比+0.3%
「世界まる見え！テレビ特捜部」・・・ 1月クール比+0.9%
「人生が変わる1分間の深イイ話」・・・ 1月クール比+0.3%

2

火曜21時へ「ザ！世界仰天ニュース」枠移動 水曜21時へ「今夜くらべてみました」ゴールデン進出

◎世帯視聴率

火21時枠「ザ！世界仰天ニュース」になり、4月クール11.8%、1月クール比+2.2%
水21時枠「今夜くらべてみました」になり、4月クール10.2%、1月クール比-1.7%
水曜は減少するもGP進出直後のクールで2ケタをマーク。7月5日は枠移動後最高の13.2%

3

土曜21時22時の枠入れ替え

◎世帯視聴率

土21時「嵐にしやがれ」 1月クール比+2.5%
土22時土曜ドラマ 1月クール比-0.1%

◎「嵐にしやがれ」は大幅アップ。ドラマは微減だがクール毎にコンテンツも
入れ替わるので枠の認知度を上げ、長い目でさらなるアップを狙う

視聴率の状況

2017年度1Q決算について

主なグループ会社の状況

2017年度の見通し

2017年度第1四半期 連結決算総括

日本テレビ放送網の放送収入および放送外収入増、Hulu会費収入増、ACMを前期末に連結子会社化したことによる増加等により増収。

一方、利益面では放送外収支減、汐留本社の保守修繕費増、設備更新等に伴う減価償却費増、Huluのコンテンツ費用負担増等により減益。

(単位:百万円)	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減 (%)
売上高	100,854	103,287	2.4
営業利益	14,393	12,160	△15.5
経常利益	16,203	15,155	△6.5
親会社株主に 帰属する四半期純利益	11,374	10,047	△11.7

セグメント別 実績

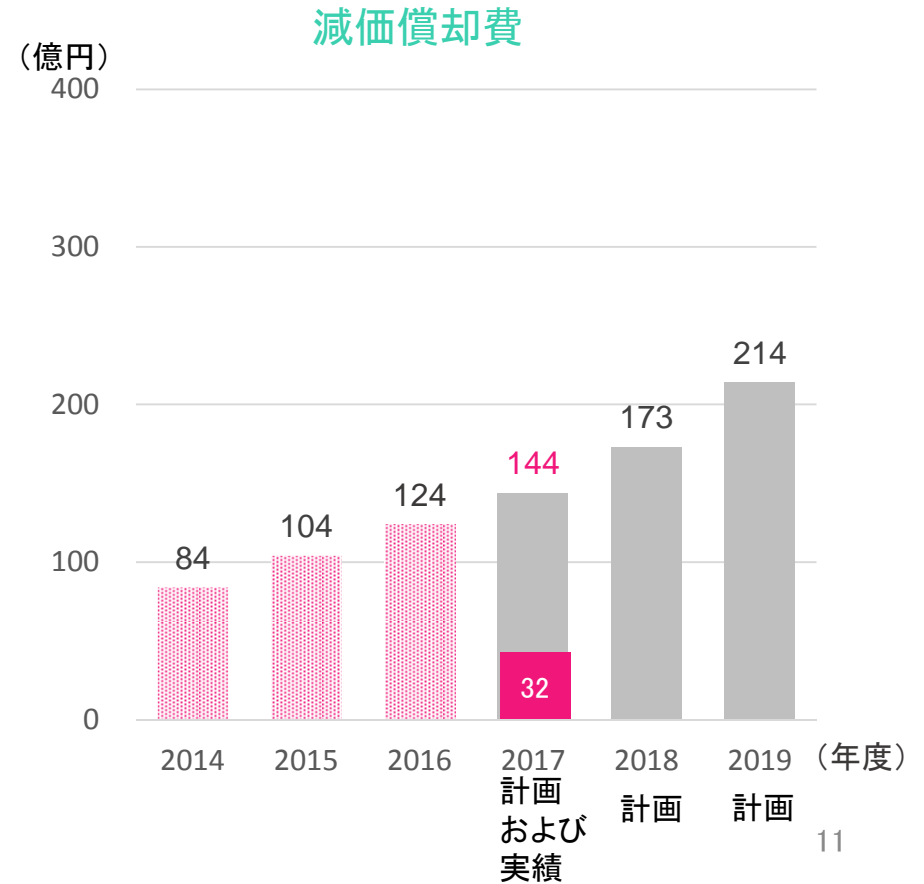
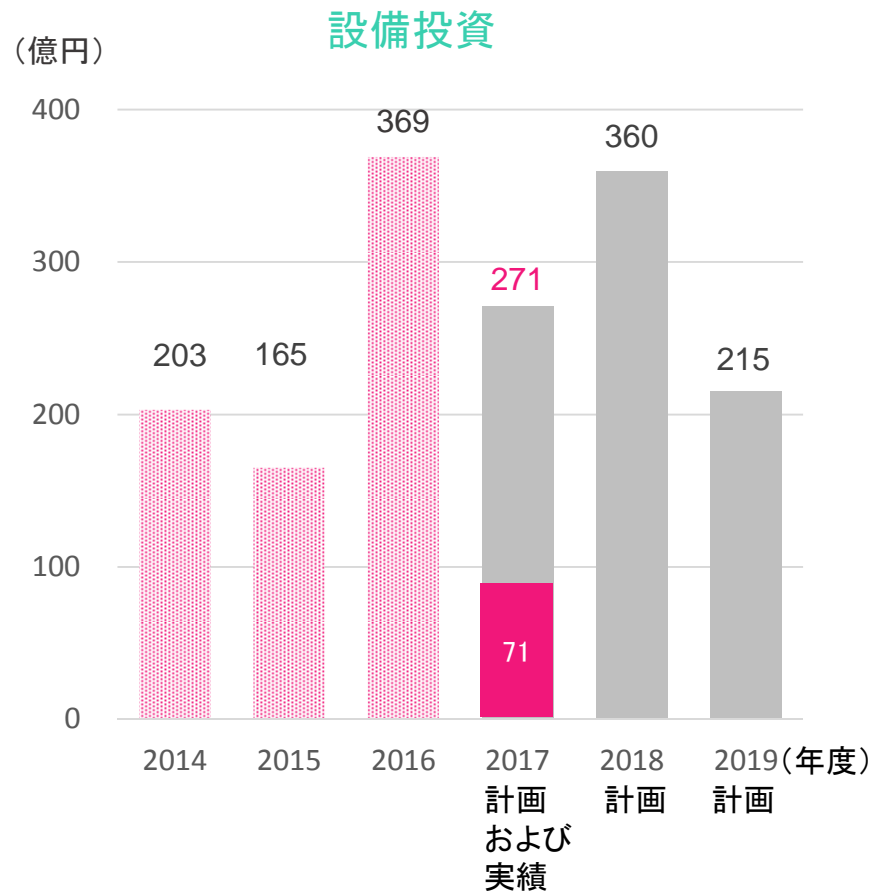
2017年度 第1四半期 (単位:百万円)	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	メディア・ コンテンツ事業	生活・健康 関連事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高	92,668	9,329	2,438	104,437	1,242	105,679	△2,392	103,287
セグメント利益	11,314	145	906	12,367	8	12,376	△215	12,160

事業区分	主な事業内容
メディア・コンテンツ事業	テレビ広告枠の販売、有料放送事業、動画配信事業、映像・音楽等のロイヤリティ収入、パッケージメディア等の販売、通信販売、映画事業、イベント・美術展事業、コンテンツ制作受託、テーマパークの企画・運営
生活・健康関連事業	総合スポーツクラブ事業
不動産賃貸事業	不動産の賃貸、ビルマネジメント

※前期末に連結子会社化した(株)ACM(全国5か所で展開する「アンパンマンこどもミュージアム」の企画、運営及び経営指導等)は、メディア・コンテンツ事業に区分しています。

設備投資・減価償却費

2017年度 第1四半期 (単位:億円)	設備投資額	減価償却費
		71



視聴率の状況

2017年度1Q決算について

グループ会社の状況

2017年度の見通し

日本テレビ放送網 決算概況

放送収入は好調な視聴率を背景に増収、放送外ではイベント等で事業収入が増え増収。一方、営業利益は汐留本社の保守修繕費増、設備更新等に伴う減価償却費増、事業費増等により減益。受取配当金が増加し経常利益は増益。なお、前期計上の特別利益(受取補償金)がなくなったことにより当期純利益は減益。

(単位:百万円)	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減 (%)
売上高	75,690	76,489	1.1
営業利益	12,462	11,433	△8.3
経常利益	14,092	14,309	1.5
当期(四半期)純利益	10,305	10,102	△2.0

日本テレビ放送網 放送収入

(単位:百万円)	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減 (%)
放送収入	62,541	62,892	0.6
タイム	28,249	29,198	3.4
スポット	34,292	33,694	△1.7

放送収入 前年同月比

タイム	2016年度 (%)	2017年度 (%)	スポット	2016年度 (%)	2017年度 (%)
4月	4.5	6.5	4月	8.6	1.7
5月	1.2	△0.2	5月	7.2	0.0
6月	3.5	4.2	6月	7.9	△7.2

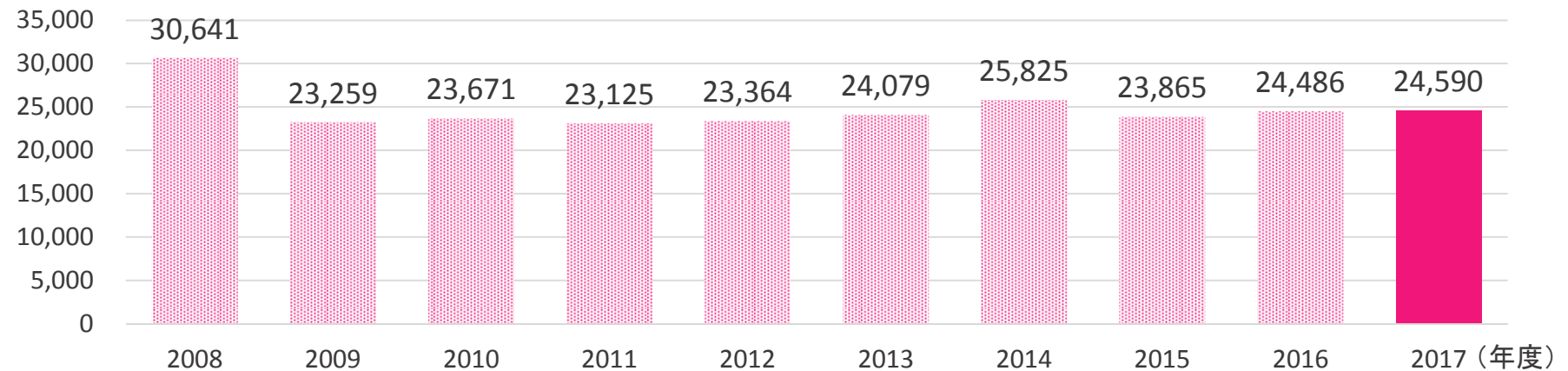
日本テレビ放送網 番組制作費

(単位:百万円)

2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減 (%)
24,486	24,590	0.4

番組制作費(第1四半期)

(百万円)



日本テレビ放送網 事業収支

(単位:百万円)		2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期
有料放送	収入	2,357	2,444
	費用	1,040	1,096
	収支	1,317	1,347
ライツ	収入	494	543
	費用	312	132
	収支	182	411
通販	収入	1,754	1,687
	費用	1,644	1,621
	収支	110	67
映画	収入	2,046	1,909
	費用	1,700	1,655
	収支	346	254

(単位:百万円)		2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期
イベント	収入	1,085	1,858
	費用	938	1,742
	収支	147	116
海外ビジネス	収入	692	373
	費用	257	192
	収支	434	181
その他	収入	1,334	1,383
	費用	1,262	1,420
	収支	73	△37
合計	収入	9,762	10,197
	費用	7,153	7,858
	収支	2,609	2,339

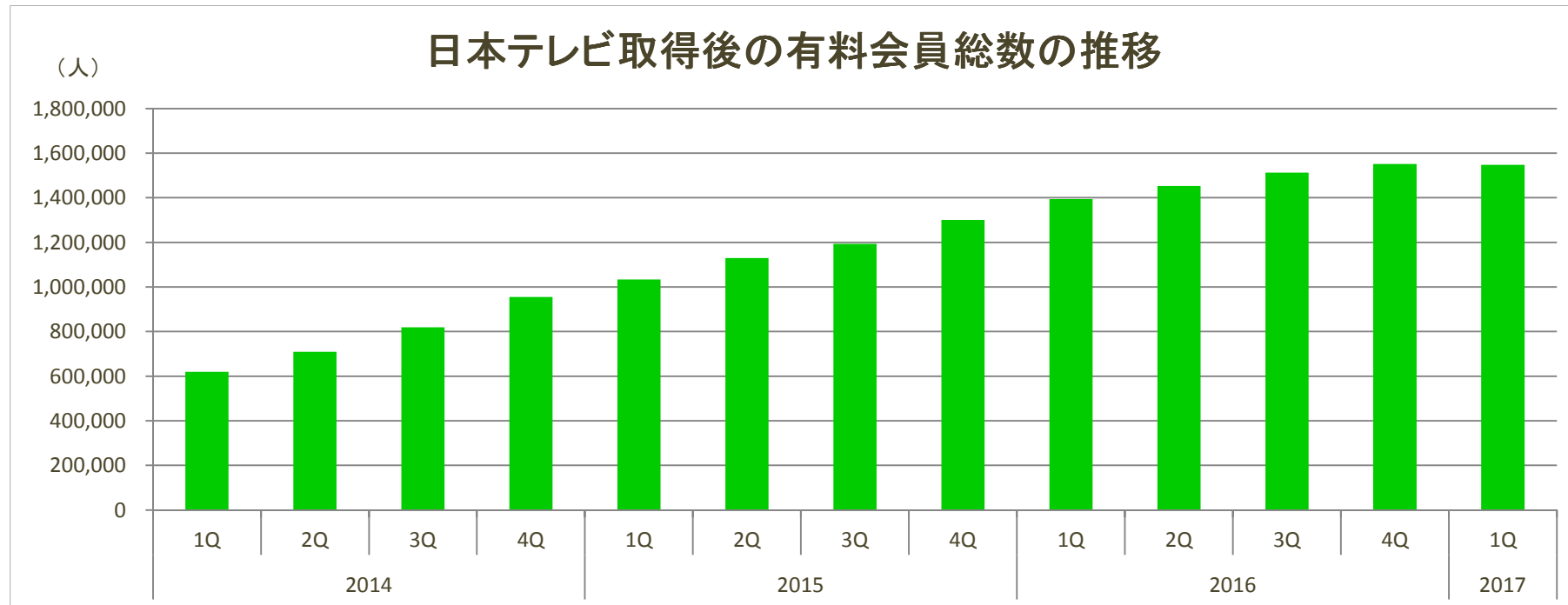
その他グループ会社の状況

(単位:百万円)	BS日本	CS日本	日テレ・テクニカル・リソース*	日テレ アックスオン	日テレ イベント	日本テレビ アート	日本テレビ 音楽	ハップ°
売上高	3,863 (3.1%)	1,194 (△2.1%)	2,597 (△1.5%)	5,490 (2.4%)	613 (1.9%)	1,920 (1.1%)	2,818 (8.5%)	3,517 (6.8%)
営業利益	324 (28.3%)	237 (△10.5%)	△5 (-)	223 (△9.7%)	△2 (-)	67 (62.6%)	364 (6.8%)	147 (3.4%)
経常利益	332 (26.9%)	239 (△10.5%)	1 (-)	227 (△9.6%)	△1 (-)	69 (61.7%)	405 (8.5%)	177 (△3.1%)
当期(四半期)純利益	227 (27.6%)	165 (△10.5%)	1 (-)	151 (△15.1%)	△1 (-)	47 (62.2%)	289 (9.3%)	137 (△14.3%)

(単位:百万円)	日本テレビ サービス	日本テレビ ワーク24	フォアキャスト・コミュニケーションズ*	日テレ7	日テレIT プロデュース	タツノコプロ	HJホールディングス	ティップネス
売上高	901 (16.9%)	1,028 (3.1%)	910 (31.6%)	818 (△33.2%)	343 (△25.2%)	448 (39.5%)	4,355 (13.6%)	9,329 (△0.4%)
営業利益	17 (21.6%)	37 (58.8%)	24 (94.1%)	43 (△58.4%)	△8 (-)	7 (354.9%)	△1,104 (-)	525 (△37.4%)
経常利益	22 (16.4%)	24 (△3.4%)	54 (133.0%)	43 (△58.4%)	△12 (-)	8 (339.1%)	△1,094 (-)	453 (△40.6%)
当期(四半期)純利益	14 (12.2%)	15 (14.7%)	36 (224.7%)	29 (△58.7%)	△14 (-)	△45 (-)	△1,094 (-)	319 (△40.1%)

注: ()の数値は前期比増減をあらわしています
前年もしくは今年損失計上の場合、増減率は「-」表記します。

HJホールディングス概況



■2017年6月末の会員数1,547,812人 ※前期末から▲3,783人と日本テレビ取得後初の純減
→システム移行に伴う解約増が一時的に生じたが、現在、解約申請は沈静化

■2017年5月にシステムのリニューアルを実施

- ①USのHuluシステムからの独立 ②マルチプロフィール ③検索時のリコメンド機能充実
- ④ライブ配信のスマホ対応可 ⑤コンテンツ保護機能の充実

■2017年7月、Hulu,LLC (US Hulu社)、ヤフー株式会社、東宝株式会社、読賣テレビ放送株式会社、中京テレビ放送株式会社を引受先とする第三者割当増資を実施
→これまで以上の魅力的なコンテンツの制作・調達、プロモーション力の向上

視聴率の状況

2017年度1Q決算について

主なグループ会社の状況

2017年度の見通し

連結業績予想

(単位:百万円)	2016年度実績	2017年度予想	増減 (%)
売上高	416,704	425,000	2.0
営業利益	52,526	48,000	△8.6
経常利益	58,130	53,000	△8.8
当期純利益	40,786	36,000	△11.7

* 今回、業績予想の変更はありません。

補足資料

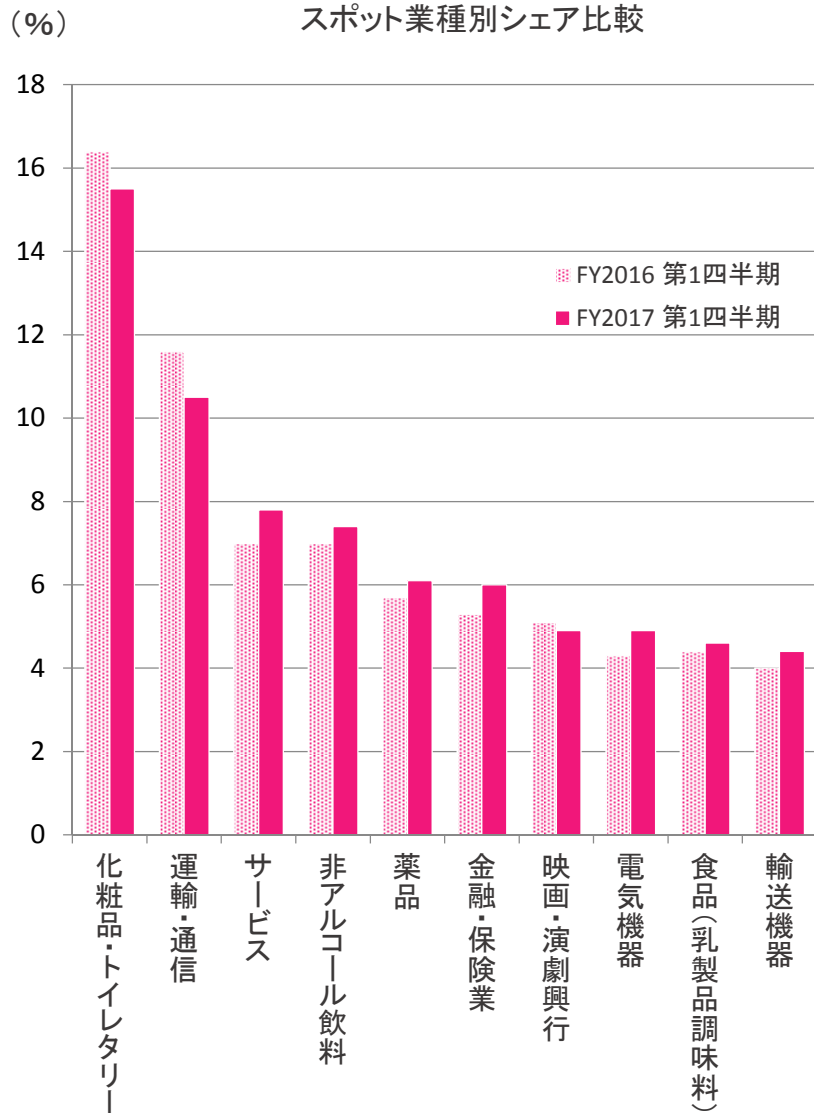
日本テレビ放送網 営業収入

(単位:百万円)	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減 (%)
放送収入	62,541	62,892	0.6
番組販売収入	2,842	2,885	1.5
事業収入	9,762	10,197	4.5
不動産賃貸収入	543	513	△5.5
合計	75,690	76,489	1.1

日本テレビ放送網 営業費用

(単位:百万円)	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減 (%)
番組制作費	24,486	24,590	0.4
支払電波料	7,551	7,864	4.1
代理店手数料	10,693	10,657	△0.3
人件費	5,704	5,798	1.6
減価償却費	1,747	1,946	11.4
事業費	7,153	7,858	9.9
諸経費	5,889	6,340	7.6
合計	63,227	65,056	2.9

スポット業種別売上シェア -地上波(日本テレビ放送網)-



	2016年度 第1四半期	シェア	増減率 (%)	2017年度 第1四半期	シェア	増減率 (%)
1	化粧品・ トイレタリー	16.4	△3.2	化粧品・ トイレタリー	15.5	△7.2
2	運輸・通信	11.6	18.8	運輸・通信	10.5	△11.5
3	非アルコール飲料	7.0	10.4	サービス	7.8	10.6
4	サービス	7.0	23.4	非アルコール飲料	7.4	4.5
5	薬品	5.7	7.6	薬品	6.1	5.1
6	金融・保険業	5.3	18.0	金融・保険業	6.0	11.0
7	映画・演劇興行	5.1	20.3	映画・演劇興行	4.9	△5.8
8	食品 (加工・ 健康食品等)	4.4	21.3	電気機器	4.9	11.7
9	食品 (乳製品調味料)	4.4	17.2	食品 (乳製品調味料)	4.6	4.3
10	電気機器	4.3	12.7	輸送機器	4.4	8.3

注: 増減率は実績の前年同期比。内部管理数値です。

2017年「年間」視聴率

期間:2017/01/02～2017/07/23

	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位局との差	HUT
全日	① 8.2	7.3	6.2	2.8	5.7	+0.9	40.6
6時～24時	(Δ0.2)	(Δ0.1)	(+0.2)	(Δ0.1)	(Δ0.3)	(Δ0.1)	(Δ0.4)
プライム	① 11.9	10.0	9.8	6.2	7.7	+1.9	58.1
19時～23時	(±0.0)	(Δ0.7)	(+0.1)	(Δ0.1)	(Δ0.7)	(+0.7)	(Δ1.1)
ゴールデン	① 12.2	9.6	9.9	6.6	7.8	+2.3	60.4
19時～22時	(+0.1)	(Δ0.8)	(+0.1)	(±0.0)	(Δ0.5)	(+0.6)	(Δ0.8)
ノンプライム	① 7.2	6.6	5.2	1.8	5.1	+0.6	35.6
全日ープライム	(Δ0.2)	(+0.2)	(+0.3)	(Δ0.1)	(Δ0.2)	(Δ0.4)	(Δ0.2)
プラチナ	① 6.6	5.9	4.4	2.7	3.8	+0.7	29.0
23時～25時	(Δ0.5)	(Δ1.1)	(Δ0.3)	(Δ0.2)	(Δ0.6)	(+0.6)	(Δ2.5)

- 注: 1. 表示は左からデジタルチャンネル順
 2. 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ
 3. ()内は前年との差 比較期間:2016/01/04～2016/07/24

2017年 映画事業の主なラインナップ

☆＝日テレ主幹事

公開	作品名	配給	備考
8/19 (土)	HIGH & LOW THE MOVIE 2 / END OF SKY	松竹	昨年大ヒットの「HIGH & LOW THE MOVIE」の続編。EXILE TRIBE総出演ほか、超豪華キャスト陣が贈るエンターテインメント大作。11/11には「HIGH&LOW THE MOVIE 3 / FINAL MISSION」上映も決定。
9/1 (金)	トリガール	ショウゲート	「鳥人間コンテスト」にすべてをかける大学生を描いた青春物語。 監督:英勉(「ヒロイン失格」) 出演:土屋太鳳 間宮祥太郎 高杉真宙 池田エライザ ナダル 矢本悠馬
9/9 (土)	☆ 散歩する侵略者	松竹 日活	第70回 カンヌ国際映画祭「ある視点」部門正式出品作品。日常が“異変”に巻き込まれる、想像をこえたサスペンス。 出演:長澤まさみ 松田龍平 長谷川博己 監督:黒沢清
10/21 (土)	☆ 斉木楠雄のΨ難	ソニー	週刊少年ジャンプ(集英社)連載の人気コミック(原作:麻生周一)を実写化。笑いがすべてを吹き飛ばす、超エンタテインメント! 出演:山崎賢人 橋本環奈 主題歌:ゆず 脚本・監督:福田雄一
11/3 (金・祝)	☆ We Love Television?	日活	テレビ界のレジェンド“欽ちゃん”こと萩本欽一の番組作りに5か月間密着したドキュメンタリー。「電波少年」の土屋敏男プロデューサーが初監督を務める。 出演:萩本欽一 田中美佐子 河本準一(次長課長)
12/9 (土)	☆ DESTINY 鎌倉ものがたり	東宝	「ALWAYS 三丁目の夕日」のチームが再結集し、西岸良平による累計900万部の人気漫画「鎌倉ものがたり」を初実写化。人間と魔物が共存する鎌倉で、ミステリー作家が怪事件を華麗な推理で解決していく。 監督・脚本・VFX:山崎 貴 出演:堺 雅人 高畑充希

2017年 イベント事業の主なラインナップ

期間	イベント名	内容
2017/4/8 ～9/24	「ディズニー・アート展 いのちを吹き込む魔法」	ディズニースタジオが所蔵する映画の原画、彫刻など約500点を展示。1928年ミッキーマウスが誕生した「蒸気船ウィリー」をはじめ、「ピノキオ」「白雪姫」から「アナと雪の女王」、最新作「モアナと伝説の海」までを網羅。ディズニー映画が各時代の最新テクノロジーを取り入れて進化する「魔法」に迫る。8/1～新たな展示が同館7階で公開される。 @日本科学未来館/大阪、新潟、仙台に巡回
2017/7/28 ～9/10	バイトルpresents 「チームラボジャングルと学ぶ！ 未来の遊園地」	光のアートに体ごと没入し、光に触れて音楽を奏でる、参加没入型ミュージックフェスティバル「チームラボジャングル」と、世界中で累計500万人以上を動員している「学ぶ！未来の遊園地」による大規模な博覧会！親子で楽しむ昼公演「Kids NOON」と、光のアートに包まれる夜公演「Art NIGHT」の2部構成。 @渋谷ヒカリエ9F ヒカリエホール ホールAB
2017/9/2 ～9/24	デスノート THE MUSICAL	2015年に話題を呼んだ「デスノート THE MUSICAL」の再演が決定！ @新国立劇場 中劇場
2017/10/25 ～11/12	ブロードウェイ・ミュージカル 「天使にラブ・ソングを… ～シスター・アクト～」	大ヒットコメディ映画「天使にラブ・ソングを…」のミュージカルが待望の再来日。2015年7月の初来日公演はソールド・アウト！映画公開25周年を記念して、あのヒット作がかえってくる！ @東急シアターオーブ（渋谷ヒカリエ11階）
2018/1/23 ～4/1	「ブリューゲル展 画家一族 150年の系譜」	日本で高い人気を誇る16世紀フランドルを代表する画家、ピーテル・ブリューゲル1世とその息子ピーテル2世、ヤン1世、さらに孫、ひ孫まで、4世代150年にわたる画家一族の系譜に迫るユニークな展覧会。個人所蔵家のコレクション約100点を観覧する貴重な機会。 @東京都立美術館/他巡回予定